

2年

Unit 5 Earthquake Drill

長野市立長野中学校 丸山 拓磨

Unit の特徴・付けたい力

本単元では、タブレットを使用し、地域に向けてスライドを用いながら自分の考えや気持ちを発信することを目標とする。Unit 5 では、登場人物たちが、防災マニュアルを作ったり、防災バッグの中身を考えたりすることを通して、防災について意識を高めていく。生徒自身が登場人物の立場になって考えたり、同じように友達と防災に対する自分の考えや気持ちを伝え合ったりすることで、自然と生徒自身の防災に対する知識や意識などを高めることが期待できる。更に、実際の学校周辺や地元地域の避難場所を確認したり、起こりうる災害を予測したりすることを通して、生徒自身におけるリアルな防災に触れることができ、防災の必要性を感じながら主体的に学びを深め、地元地域に対する相手意識を持って学習を進めることができる。こうしたことを期待し、「地域みんなの意識が高まるように、『私の町の防災 PR スライド動画』を作成しよう」という単元を設定した。

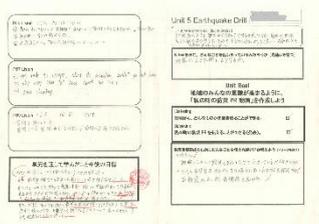
ICT（デジタル教科書）の活用

- ・扉のページでは、「どのようなことが始まるのか」などの興味関心を引き付ける写真となっているため、生徒の考えや気持ちをじっくり伝え合いながら扱いたい。
- ・実写のドラマでは、登場人物たちがプレゼンテーションをする場面が視聴できる。人前で話す彼らの良さを全体で共有し、単元の終末で意識させたい。

全時学習活動（全 11 時間）

時	学習活動	デジタル教科書やタブレットの活用ポイント
1	単元の大まかな内容をつかむ。	・扉のページでは、防災グッズの表現を確認しながら、Goal の防災バッグについて触れる。
2	地震が起きたらどのような行動をとり、どこへ避難すべきか伝え合う。	・教科書の設問を中心に聞き取る活動を行う。 ・自分に合ったスピードでシャドーイングを行う。
3	避難の際に心がけなければいけないことを読み取り、大切だと思うことを伝え合う。	・読み取った内容で、大切だと思う文に下線を引き、友達と共有する。
4	友達と自分の住む場所で起こりそうな災害について伝え合う。	・P67 の Listen では、災害についての単語や表現を何度も聞かせながら必要な表現に慣れ親しませたい。
5	友達と「地域みんなに、想定される災害から身を守るための行動」を伝え合う。	・タブレットを使い、地域のハザードマップを見ながら想定される災害を調べる。
6	友達と我が家の防災バッグの状況について伝え合う。	・P68 の本文では、Ms.Rios が防災グッズを列挙する場面があるので、何度も聞かせながら語尾を上昇調で話す表現に気づかせたい。 ・家庭の防災バッグの現状を Teams で共有する。
7	友達と防災バッグの具体的な中身を考えて、伝え合う。	・P70 の Listening を各自のペースで聞き取る。 ・必要だと思う防災グッズを Teams で共有する。
★8	相手の防災意識が高まるように、役立つ防災グッズを伝えよう。	・Teams で友達と考えを共有したり、教科書のイラストを用いながら自分の考えを伝え合ったりする。
9	単元目標に向けて動画を撮影する。	・デジタル教科書の写真などを利用してスライド動画を作成し、Teams へ Upload する。
10	友達と製作動画を見合い、互いの良さや工夫、感想を伝え合う。	・Teams の動画を見合い、Teams 上にコメントを残す。  完成動画
11	これまでの学びを、単元目標を CAN-DO に沿って振り返り、単元シートに記入する。	

★8 時の指導案

授業手順	○教師の支援・生徒の反応	☆デジタル教科書やタブレットの活用の仕方 ◇指導上の留意点
1. Small Talk	<p>○ Do you have your own emergency bag? I have an emergency bag in my house.</p> <ul style="list-style-type: none"> ・No, I don't. So, I want to prepare one. ・Yes, I do but I don't know where it is. <p>○ What items should you pack in your emergency bag?</p> <ul style="list-style-type: none"> ・I should pack a flashlight, bottled water and food. 	<p>☆P70 の写真を提示しながら、必要だと思う防災グッズを伝え合う。</p>  <p>◇前時 Teams に投稿した内容を全体で共有しながら、多くの生徒が必要だと思った防災グッズなどを取り上げ Teacher⇔Student のやり取りを行う。</p> 
2. 本時の目標設定 3. 発表活動①	<p>○ What else should we pack in our emergency bag? I think tents are very useful. If we use one, we can make a private space. We have to pack hand warmers because it's very cold in Nagano in winter. What do you think? Let's talk about our emergency bags with friends.</p>	<p>Today's Goal : 友達の良いところ (表現・アイデア) を参考にしながら相手の防災意識が高まるように、役立つ防災グッズを伝え合おう Today's Point : 相手意識を大切にしよう</p> <p>◇教室の TV にデジタル教科書の画面や防災グッズの写真を表示し、教師が必要だと思う防災グッズを生徒に伝える。この時なるべく Teacher⇔Student を大切にしながらやり取りをし、写真を提示する。</p>  <p>☆生徒はワークシートに書きこみ、それをもとに、友達とやり取りを行う。</p> 

4.中間評価	<p>○Please listen to her speech.</p> <p>・I think the most important item is bottled water. If we can't drink water, we can't live. Food and radios are very important items, too. But I should pack cards because I have 2 brothers. Cards are important items for them.</p>	<p>◇全体で数名の生徒の発表を聞き、発表の良さを共有する。特に相手意識をしている点や既習表現を上手く取り入れている姿を共有し、ワークシートに自分の考えや伝え方を練り直すように指示する。</p>
5.発表活動②	<p>○Let's talk about our emergency bags again.</p> <p>○Let's shoot!</p> <p>・I think you should pack a whistle and a flashlight and family pictures. If you can't meet your family, it is very useful and when you feel sad, you can look at them. Also, you are separated, you can show their pictures to help find them.</p>	<p>◇再度、複数の生徒と練り直した自分の考えを伝え合う。</p> <p>☆自分の考えをタブレットで録画し、Teams に投稿する。(クラスメートの動画を見合う)</p> 
6.振り返り	<p>○Today's Point を観点に Today's Goal に向けてどう取り組めたか、また次回の課題や目標を書こう。</p> <p>・実際に避難した人の立場に立って考えることができた。次回は撮影する際の使い方を工夫したい。</p>	<p>◇投稿した動画をクラスで見合い感想を伝え合う。</p>